

広 報



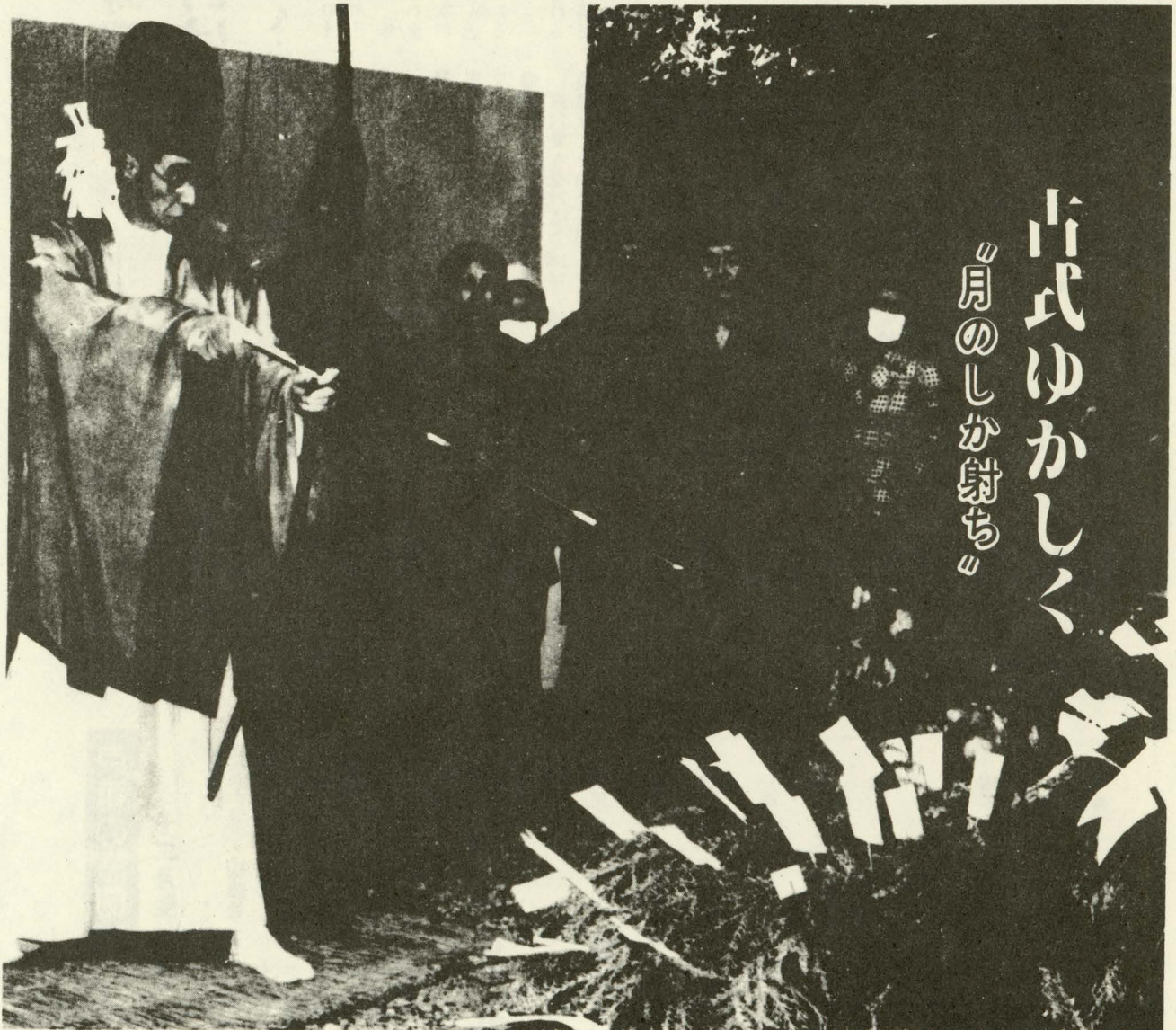
とうろい

NO. 267

発行：東栄町役場

昭和57年3月1日

編集：企画課



古式ゆかしく
『月のしか射ち』

57 / 3

人口と世帯

2月1日現在
 ()内は前年比
 人 口 6,242人(-79)
 男 2,982人(-48)
 女 3,260人(-31)
 世帯数 1,810戸(+ 1)

(住民基本台帳+外国人登録)

「しか射ち神事」は、狩人の豊猟と山での厄除けを祈願するというもので、その起源は花祭りより古いとも言われます。しか射ち神事は月のほか、布川、小林、古戸の各地区で行われています。

郷土に伝わる貴重な文化財、大切に保存したいものです。

印刷：(豊橋)親和プリント株式会社

とうえい

へき地教員の待偶改善に一役

教員
宿舎

工事完了二題

見事に整理された桑原前田

ほ場
整備

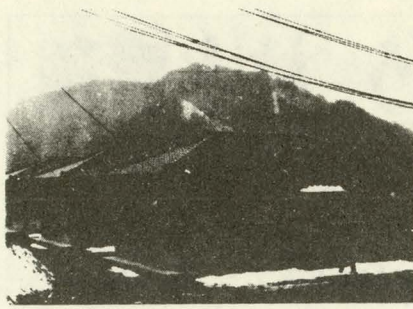
昭和五十九年度を目標年次とする過疎地域振興計画第二年度の進捗状況を昨年九月号でお知らせしましたが、その中でも目玉事業として注目を集めていた桑原前田地区のほ場整備工事と、へき地教員宿舎建設工事がこのほど完了しました。

五戸の新築住宅が完成

市場から足込へ通ずる県道阿南東栄線沿いの空地に真新しい住宅が建っているのをご存知ですか。これは東栄中学校に勤務する教員の住宅確保を目的として、国庫補助事業で建設が進められていた「へき地教員宿舎」です。

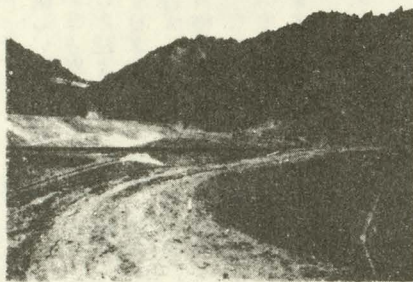
三河建設工業株式会社との間で請負契約が締結され、九月中旬から工事が行われていたものです。完成した教員住宅は鉄骨平屋建て（一戸当り六十平方メートル）五戸で、日照条件もよく、良い環境の中に建っています。

山合いに整然と一・九ha



▲完成した教員宿舎

▼区区分も新たに…桑原前田地区



生産基盤の整備拡充を目的として、工事を進めていた「桑原前田地区ほ場整備事業」の工事が終了し、立派に整備された水田一・九haが山合いの集落に出現しました。桑原地区は標高五百メートルの高さにあり、その耕地は少なく、水田も限られた面積に密集しており、日でも早い生産基盤の整備が望まれていました。この事業は過疎地域振興計画の中で、第二期山村振興農林漁業対策事業として、国・県から補助を受

二月十九日にはしゅん工式が行われ、原田町長ほか、学校関係者、工事関係者ら多数が出席して、工事の無事完成を祝いました。

《事業の概要》

- 所在地 大字下田字堀田地内
- 面積 一戸当六十平方メートル
- 設計 伊藤建築設計事務所
- 施行 三河建設工業株式会社
- 事業費 二千九百五十万円

けて、昨年七月下旬着工し五ヶ月余をかけて完成したものです。一月二十五日には県のしゅん工検査が行われ、無事しゅん工となりました。工事前には八十数枚あった水田が十七枚に整然と区画整理され、その変貌ぶりには目をみはるばかりです。春にはこの新しい水田に苗が植えられ、秋には豊かに穂った稲穂が風に揺れることでしょう。一方、同じく第二年度の事業である「大下田地区ほ場整備事業」

- 設計 愛知県土地改良事業団体連合会豊橋支部
- 施行 設楽建設㈱
- 事業費 二千六百二十万円

〈町議会臨時会〉 5件を原案可決

補正
予算

町議会臨時会が一月二十六日に開催されました。提案された条例の一部改正二件、補正予算三件の計五件が慎重に審議され、原案どおり可決されました。その概要をお知らせします。

- ◎職員給与と例の一部改正 行政職、医療職の給料、扶養手当、通勤手当などが給与動告にもとづき改正されました。
- ◎老人福祉施設設置条例の一部が改正されました。三輪深谷地内に完成した老人憩の家「深谷荘」をこの条例に加え

- ◎一般会計は第五回目の補正 一般会計予算は第五回目の補正を行い、歳入歳出にそれぞれ三十二億九千九百九十九万六千七百二十九円と追加し、総額は二十億五千七百二十八万四千円となりました。今回の補正の主なものは、林道林線本工事費、給与改定に伴う増などです。
- ◎東栄病院事業特別会計も二千三百三十五万九千九百円を追加。東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計予算は歳入歳出とも二千三百三十五万九千九百円を追加し、総額は六億一千三百二十一万三千円となりました。主なものは給与改定に伴う給与、手当などです。
- ◎農業共済事業特別会計も八十九万六千円を追加。東栄町農業共済事業特別会計予算は第二回目の補正を行い、歳入歳出とも八十九万六千円を追加、総額は一千七百六十四万四千円となりました。

山歩く心にも火の用心

全国山火事予防運動 2月28日～3月6日

長かった冬からそろそろ目ざめる日本列島。同時に、行楽や山菜取りで山へ行く人が多くなり、山火事が増えるのもこのころからです。

昭和五十五年には、全国で四千二百二十件の山火事が発生しましたが、このうち、約七三%に当

たる三千五万件が二月から五月の四か月間に集中しています。この時期は、空気が乾燥し落葉や枯草が燃えやすいというこ

いの場として心をなごませてくれます。しかし、森林がこのような目的で利用できるようになるまで

額の資金、多くの人の労力が改めて必要になります。また、山火事によって損なわれた景観は

??? たばこ一本 百七十万円 ストーブ一台 三百八十万円 ?????

による火災損害
昭和56年版
消防白書より

昭和五十五年中に起こった火災のうち、損害額のいちばん大きいのはたばこによるもの。たばこによる火災一件当たり、約百七十万円相当の財産が灰になった勘定になります。

昭和五十五年中には、全国で一時間にはば七件の割合で火災が発生していますが、これを出火原因別に見ると、たばこ、火あそび、たき火の順で多く、ストーブは七番目です。ところが、わたしたちの財産を灰にしてし

まう「効率」という点では、ストーブは他を圧倒していると言えます。これは、ストーブが家財道具の集中した部屋で使われるため

を。ストーブは怖い——とはいっても、正しく使いさえすれば、ただの暖房器具。使うときには次の点に気をつけましょう。

6 火のついたまま持ち運ばない。
7 外出するとき、寝るときは必ず火を消す。
さらにストーブの種類に応じて次の注意も必要です。

春の全国火災予防運動 2月28日～3月13日

- 1 取扱上の注意事項など、説明書をよく読む。
- 2 周囲は常に整とんし、燃えやすいものを置かない。
- 3 部屋の出入口や通路などで使わない。
- 4 近くに洗濯物を干したりしない。
- 5 ベンジン、ヘアスプレー、など揮発性のものをそばで使わない。
- 6 火のついたまま持ち運ばない。
- 7 外出するとき、寝るときは必ず火を消す。
- さらにストーブの種類に応じて次の注意も必要です。
- 石油ストーブ：燃料の補給は必ず火を消してからにする。
- 電気ストーブ：使わないときはコンセントを抜く。
- ガスストーブ：ゴムホースには耐圧ホースを用いるとともに、なるべく短いもので済むように、できるだけ元栓の近くで使う。また、ホースのひび割れに注意する。
- 8 強風または乾燥時および枯草などのある場所では、マッチを使ったり、たき火をしない
- 9 子供に火遊びをさせないよう注意する
- 10 火入れをするときは必ず許可を受ける

昭和56年のあしあと

町の主な動きを再現

忙しく過ぎ去った昭和五十六年。首長の交替を初めとして色々なことがありました。町の事業も、過疎地域振興計画の第二年次とあって、計画事業の完了が相次ぎ、その進捗状況は順調でした。

昭和五十六年は、いったいどんな年であったのか。広報紙面上から主な出来事を取り上げてみました。

一月

東栄町が 全国優良町村に

一月三十日、東京で行われた全国町村会定期総会において、東栄町が優良町村として表彰を受けました。東栄町が誕生して二十五年、厳しい諸条件の中であらゆる施策を推進してきた実績が全国的に認められたものです。

二月

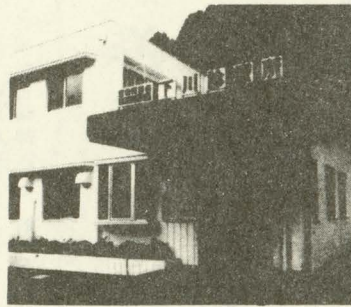
厳寒！

次々と寒波が襲来、厳しい寒さの中では行動もつい鈍りがち、でも子供たちはスケートに雪あそびにと大はしゃぎ。寒い日が続く中、各小学校では学習発表会が開催されました。

三月

下川診療所が完成 地域医療大きく前進

六ヶ月の月日と九千六百万円余の費用をかけて改築を進めていた下川診療所が三月中旬に完成、地域医療の確保に確かな布石を投じました。



改築された下川診療所

四月

待望の ナイター始まる

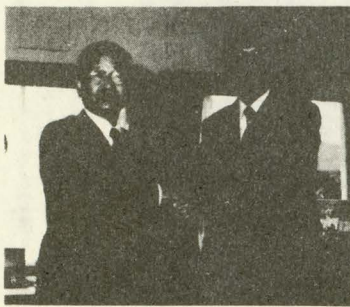
野球場照明施設が完成

町総合広場内の野球場に夜間照明施設が完成。四月七日、まばゆいばかりのカクテル光線の中、オープン第一戦が行われました。この日から秋にかけて野球、ソフトボールの熱戦が毎夜のように繰り広げられました。

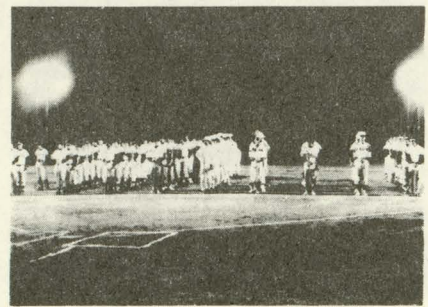
五月

首長交替 町長選挙行わる

町内外から大きな関心を集めた町長選挙の投票が五月二十四日行われ、新町長が決まりました。首長を決める選挙とあって有権者の関心は高く、投票率は九十二・八%。即日開票の結果、原田畠作氏が当選し、向う四年間の町政を担うことになりました。



がちりバトンタッチ

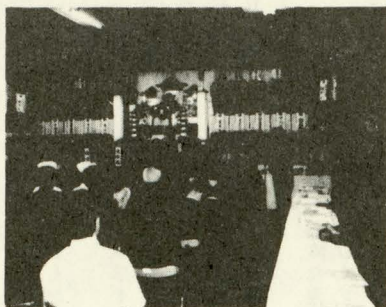


カクテル光線のもと全チーム集合

六月

医療ひと筋 関本女医急逝

六月二十六日午前九時二十分、「女医先生」の名で人々から絶大な信頼と敬慕を受けていた関本英子医師が、心筋硬塞のため逝去されました。七月十二日の病院葬には三百名におよぶ参列があり、女医先生の遺徳がしのばれました。



しめやかに病院葬

七月

新しい農業 委員が決定

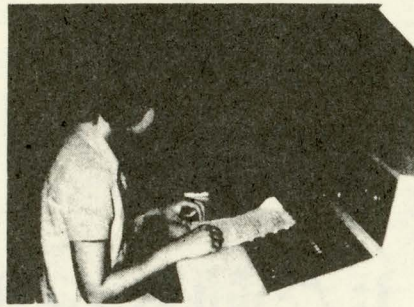
任期満了にともなう農業委員の選挙が七月十日に告示され、委員定数と同数の十五名が立候補、無投票で新しい農業委員が決まりました。

とうえい

八月

迅速かつ正確に… 防災行政無線が開局

広報活動、災害時の連絡などの迅速・正確化を目的として、一億一千六百万円余を投じて建設を進めていた防災行政無線が完成し、八月五日から放送が開始されました。



広報「とうえい」始動!!

奈根簡水の

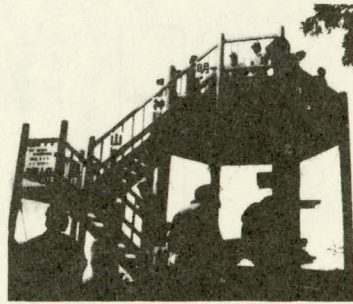
工事が始まる

普及率九十%をめざす町の水道事業のひとつ、奈根簡易水道の建設工事が始まりました。この事業は二ヶ年継続で行われ、完成時には配水管の総延長七千以上に及ぶ大

九月

文化の日を中心に 多彩な催し

一日から三日にかけて、大森の丘では文化祭が挙行され、大変な賑わいをみせました。



高さ4mの立派な展望台

十月

明神山頂に 展望台が完成

町の最高峰明神山(二〇一六m)の山頂に展望台が完成、十月六日に展望台開きが行われました。この展望台は高さ四mに及ぶもので九百万円をかけて建設されたものです。

十一月

十二月

文化の日には産業会館において町政功労者表彰が行われ、八名の方に表彰状、感謝状が贈られました。また、同日、前町長原田嘉美氏は県庁において地方自治功労を受賞されました。

三輪に初の「憩の家」 「深谷荘」が完成

これまで老人憩の家がなく、老人クラブの活動などに不便をきたしてきた三輪地区に、町内では九

善意の奉仕!...東青協

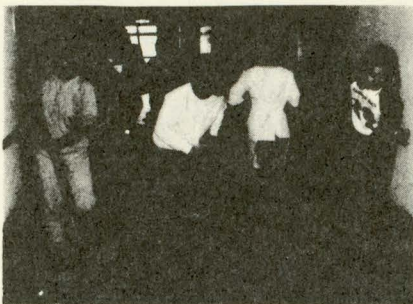
すぎの木寮を大掃除

東栄町青年団協議会(伊藤明博会長)は、三輪の重度心身障害者療養施設「すぎの木寮」を慰問し、寮内の清掃、車いすの整備などの奉仕作業を行いました。

この日の奉仕作業に参加した団員は約四十名。モップやほうきを手に善意の汗を流しました。

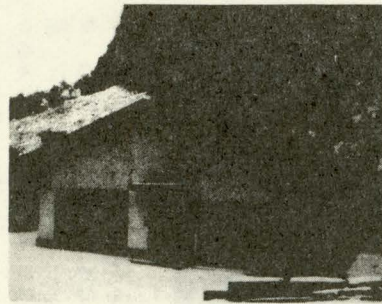
すぎの木寮の慰問は今回が初めてですが、慰問を受けたすぎの木寮から、寮内外の清掃ができて大助かり、と喜びの声、若人たちの善意に感謝していました。

東栄町青年団協議会では、こうした奉仕作業を団の行事として毎



寮内を清掃する青年団員

年行っており、青年団の心意気を示しています。



立派に完成「深谷荘」

番目の老人憩の家が完成しました。この憩の家は上深谷地内に建てられたもので、「深谷荘」と命名されました。

「犬の事故」防止

運動不足にご注意

最近、野犬や飼い犬が幼児や児童を襲って、かみ殺したり重傷を負わせるという「犬の事故」が起きています。

事故原因のほとんどは、飼い主のしつけ、訓練が不十分だったり、犬の生理に対する無理解から起きています。エサさえ与えておけばいい、こういう安易な飼い方が実は一番危険なのです。

犬も人間と同じように欲求不満やストレスがたまります。その一番の原因は、運動不足です。その結果、ストレスのはけ口を求めて狂暴になり、人に危害を加えることにもなるのです。

犬には十分なエサと適度な運動を与えながら、厳しくしつけて飼いましょう。

テレビ放映のお知らせ

愛知県木材組合連合会では、愛知の林業の現状をPRするテレビ放映を行いますのでぜひご覧下さい。

◎放映時間 十八時から十八時三十分

◎放送番組 CBCニュースワイドの番組提供

◎放送曜日 第一週 火・木曜日 第二週 月・水・金曜日以下繰返す

◎放映時間

昭和五十七年二月一日から昭和五十七年七月三十一日まで

とうえい

56年度「文化祭」テーマ論文発表

ふるさとと文化の振興

☆人選☆ 一般の部



先林

大谷将夫

町村合併以来、町では歴代の町長さんを中心に教育文化面に力を注いできた。青年の家、民俗館、博物館、花祭会館をつくりあげ、文教の里東栄の名声を得た。また出版の面でも「東栄の石仏」(五十四年)、「花祭の伝承」(五十五年)、「花祭り語い集」(五十六年)と続き、本年に入るや、県民大学、文化教室、堂平遺跡の発掘など、着々とユニークな活動をつづけ成果をあげている。

北設楽においても、ほとんどの町村に民俗資料館が建てられ、文化財関係のすぐれた出版がなされ、文化の花咲く季節といえる。しかし文化が一般の人々に深くゆきわたっているとはいえない。一部の研究者、愛好家を除けば関心は薄く、若者はいずれも上層でない文化に溺れているともいえる。美術展音楽会、観劇などには無縁な人が多い。だからこそ、山村における文化振興の上で、行政の役割は極めて大きい。

●施設には人を

先に述べたように住民の要求と行政の努力によって、多くの文化施設が生まれた。しかし、立派なものではないか。とくにひとの問題がある。東栄町でも、民俗館、博物館、そして花祭会館とあるがそこには館長・学芸員・専門委員はいない。館には最低ひとりの人間がいて、年間計画をたてて行事をくみ、訪れる

人を持つのでなく、外に働きかけるべきである。数歩譲っても案内係ひとりが必要である。人がいることよってその施設は生きる。千葉県成東町の「伊藤佐千夫記念館」を訪ねたときの経験からしてもそれがはっきりいえる。人が集れば、話しあいがあり、人間同志のふれあいがあり、そこに何かが生まれる。

●文化を愛する人々の結集を

町の総合計画(昭和五十一年)の中に「現在趣味等の同好会的組織で行われている各種文化サークルに対し、関係機関や指導者との連携を図って確固たる文化団体として、これからの町の文化活動の中核となる自主団体の育成をめざす」とある。現在当町には「ふるさと歌会を初めとして、詩吟、箏曲、民謡、踊り、フルートのグループ、山村文化振興会、山彦読書会など数えきれないほどの文化グループがある。これらを育成し、交流を図る文化協会の設立が考えられる。しかしここで注意したい

ことは、それがひ弱な助成金に頼る文化協会であってはならぬ。官制のそれであってはならない。内からの自由なエネルギーに満ちたグループの結集であってほしい。それは可能なことである。また町内には七百年の伝統をもつ花祭りがある。また町内にはすぐれた社会教育の指導者、童話作家、芸能面でのリーダーが数多くいる。これらの人々を一つの方向に結びつけ、ふるさとと文化の振興に努

力してほしい。

●文化の振興

文化の振興は将来への見通しをもち、豊かで綿密な計画のもとで、着実な実践がものをいう。昭和十年代に柳田国男先生の指導のもと北設楽の先輩たちが作った民俗学研究誌「設楽」は四十年後によりみがり、貴重な文献として、現在も生きつづけている。

昨年文化祭での「ふるさと芸能大会」は記録的な人出で成功した。本年も盛況となることだろうが、この大会は山村における文化振興のひとつの方向を示している。即ち演者が観客であり、観客がまた演者である。

この飾り気のない芸能大会は多くの人を集め、人々の好感を呼んだ。もともと文化は民衆のものであり、ふるさとと土の香りのするものである。また、「営々としてつ

新学期近し!!

子どもの交通事故を防ごう

新しく学校、保育園に入学(園)する子どもたちにとって春は交通事故の心配される時期です。これは入学を機会に子どもの行動範囲がグッと広がったり、新たに自転車を利用し始めたりするため、これまで以上に十分な注意が必要です。

子どもの交通事故を防止するには、子どもの特性を理解したうえで、次の点に留意することが大切

み重ねていくもの」であろう。祖先から伝わる文化を受けつぎ新しい創造に向って出発したい。ここまで書いてみると、「広報とうえい」から県民大学と文化財めぐりの案内が流れてきた。こういったきめ細かい広報活動がいつかものをいうのではあるまいか。町当局担当者の心意気が伝わってき

大谷将夫氏の横顔

現住所 大字中設楽字先林
▽昭和五年渥美郡渥美町大字古田の生まれ。▽昭和二十八年、愛知学芸大学(現在愛知教育大学)卒業。▽昭和五十三年四月から五十六年三月まで東栄町社会教育主事を務め現在、設楽町立清嶺中学校教頭として活躍中。



とうえい

地域とともに28年

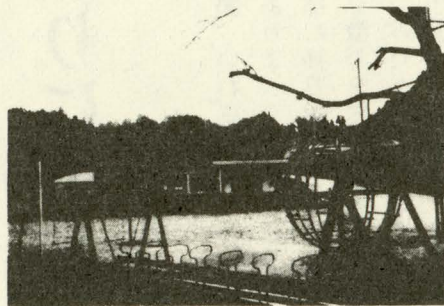
〈桑原公民館〉

区民一体の管理運営

—地域活動の中心的存在—

町のどの地区にも公民館等の公共集会施設があり、それぞれ有益に活用されています。ここでは、区民一体となってユニークな管理運営を続けている桑原公民館をご紹介します。

桑原公民館は、桑原地区を通る県道沿いにある小じんまりした公民館です。この公民館は昭和二十九年十二月に完成したのですが、材料から敷地造成、建築作業に至るまでの全作業、全物資が、区民の奉仕、寄附によるものでした。区民の熱意と努力で完成したこの公民館を末永く利用しようとする管理には万全を期しています。毎月一回第三日曜日に、当番の主婦二人と子ども会員によって清掃



区民に愛される桑原公民館

を行うほか、五年に一度、区民総会による点検修理を実施しています。こうした活動のおかげで二十八年の間立派に存続しており、その間各種設備もとのいました。昭和四十年には、静かな山あいに音

楽をと放送設備が取り付けられ、音楽だけでなく、色々な連絡も出来るようになりました。昭和四十九年には、ブランコや鉄棒、回転ジャンケルジムなどの遊戯設備が取り付けられ、子どもたちの遊び場として活用されています。

こうして独自に設備充実を図ってきた桑原公民館ですが、これらにかかる経費の多くが区民の寄附によってまかなわれているのです。この寄附は各戸に一升ビンを回して、適宜投入するというユニークな方法です。

桑原地区ではこの公民館で区民の会合などの会場として利用されていますが、新年祝賀会やラジオ体操の会などの公民館行事も長く行われており、公民館は区民にとってなくてはならない存在となっています。

ふるさとの見直し

「東栄の民話」を発刊

「赤子石」、「さるのいたずら」など、東栄町には数多くの民話があり、親しまれています。

昭和三十七年に、これらの民話を集めた小冊子が刊行されましたが、二十年の歳月が流れ、その残存もほとんどなく、忘れ去られようとしています。

時間的に文化的に都会との距離は縮まって、生活も便利になってきましたが、ふるさとへの感慨がうすれてきているのも事実です。このような時、ふるさとを見直し祖先の知恵や心に触れることが大事なことであると感じられました。今回、町民のみなさんのご要望により、町に伝えられている民話を保存し、親しみ継承していくため、昭和三十七年発行のものを改訂、増補して刊行します。

内容は濃く、小学校の子どもにも読みやすく、さし絵も豊富にし、装丁にも留意して製本しました。町民のみなさんとはもとより、親せきの方や町出身の方々にもお勧めいただけるようご案内いたします。

四月中には刊行の予定ですが、注文は組長を通して受付中です。

(東栄町教育委員会)

タバコは

町内の商店で

心身ともに健康で、知性豊かにして責任感が強い実践力のある子どもの育成を目指す古戸小PTAは、児童数の減少で現在、会員数十五名、教職員八名、役員は会長以下七名という極くこじんまりし

PTA
古戸小PTA会長
青山正吉

た家族的雰囲気のあるPTAです。少人数会員のため、強力にして効果的な活動をするための組織編成が難しい実情であります。運動会その他学校行事への協力や、児童活動への物心両面の支援に心掛けています。望ましい活動、殊にグループ学習、研修にも力を入れなければなりません。全会員で子どもたちに喜ばれる身近な実のある活動(催し)をと考え、その一つの例として、本校が自慢している特色ある活動のようすを紹介いたします。

「あゆとり大会」

本校は学校の十、下が鴨田川と

いう恵まれた立地条件にあります。地域の方々のご高配により、毎年「あゆの漕」を学校のために提供していただき、「あゆとり大会」を行ってまいりましたが、一昨年から保護者も加わり、本年度は八月二日に賑やかに実施することができました。

細部実施計画は児童会が中心となり、PTAも本年度は三張の巻網を寄贈、物的面からも協力しました。



いたぞ…漕とり大会から

川をせきとめ、「養殖にします」でつかみどりを行うのとは異なり自然風流されたあゆを巻網や、ひかけによって捕獲するのですか

と う え い

母と子の健診と相談

母親教室

当町では東栄病院と共同で母親教室を実施しております。病院でお産予定でない方もどしどし受講して下さい。

- 日 程 3月18日(木)
- テーマ…妊娠の生理と注意、分娩の準備、安産教室 4月7日(木)
- テーマ…赤ちゃんの保育、妊娠中の栄養産後の生活、家族計画
- 時 間 受付 午後1:30~2:00
講義 午後2:30~4:30
- 場 所 東栄病院研修室
- 対 象 町内全妊婦
- 持参するもの 母子手帳、うぶごえ(ある方のみ)
- 講師 瀬口医師 助産婦 保健婦 栄養士
- 費用 無料

妊婦 乳児 母親 健診

- 日 時 3月25日(木)
午後1:00~3:00
- 場 所 産業会館保健室
- 対 象 妊婦…町内全妊婦
乳児…昭和56年3月、5月、7月、9月、11月、昭和57年1月中旬に生まれたお子さん
母親…2ヶ月児と一歳児をお持ちの母親
- 持参するもの 母子手帳
- 費用 無料

異動届をお忘れなく

国保からお知らせ

この時期は入学や就職などの関係で、住所などの異動が多くなる時期です。

国民健康保険では家族に異動があった時は、十四日以内に役場国保係に届出をすることになります。

●届出が必要な場合

- 職場の健康保険等に入った時、またはやめた時。
- 他の市町村から転入したり、他の市町村へ転出するとき。
- 子どもが生まれた時、又は家族のどなたかが亡くなった時。

詳しくは、役場保健課国保係へお気軽におたずね下さい。

国民年金保険料

四月から五、三〇〇円に

国民年金の保険料は、今年四月から一ヶ月分が五千二百二十円に変わります。

○場 所 産業会館保健室

- 対 象 一歳児半：昭和五十五年七・八・九月生まれのお子さん
三歳児：昭和五十三年十二月、昭和十四年一・二月生まれのお子さん
のお子
- 持参するもの 母子手帳
- 費用 無料

一歳半 三歳児 健診を実施

- 町と東栄病院共同の一歳半・三歳児健診を次のとおり実施いたしますので、すんでご利用下さい。
- 日 程 三月十七日(水)
午後一時~三時

た将来老齢年金が受けられなくなったりすることになりますので、必ず保険料は、期限までに納めるようにしましょう。

戸籍の窓口

☆よろこび

氏名	保護者	住所	氏名	年齢	世帯主	住所
内藤 未希	善久	上粟代	大野 孝夫	(76)	高照	東園目
三井 信二	孝男	下田	伊藤 たづな	(80)	國治	古戸
			夏目 まさ	(87)	房男	三輪
			伊藤 リツ	(79)	一郎	三輪
			西山 せい	(85)	美本	郷

※なお、それぞれのお子さんをお持ちの母親健診も実施します。

ふるさと歌壇

互選首

☆ふるさと歌壇 第二三九回

山に住む吾の運命が朝早く枝打ち急ぐ凍てし山岨
冬の陽はあまねく射して裸木のうす紅の枝先静まる
原田 芳子

明神山に新築されし展望台朝日の中に新春を輝く
鈴川 三重

五度目の干支迎え悔いのなき日々を生きたと社頭に祈る
関本 三三子

あどけなき笑顔愛しき初孫を囲む茶の間に初春の陽明るし
内藤 すへ

深まみくる冬の冷たき風強く山の裸木鳴りて暮れ行く
大野 むつみ

暁の空冷え冷えと澄み渡り明神山に展望台光る
佐々木 憲

天高く聳ゆる松は端芽伸びてけさの初日に匂ひたちある
金 指 節子

齢古りし枇杷の葉面に霰降り跳ねてこぼれり師走の庭に
後藤 八重子

雨戸締める位置にオリオン見えてより吾の願いの星となりたり
福田 幸代